

挑戦と新たな価値が循環する 働きやすく・くらしやすい姫路

No	カテゴリー	中期方針	政策タイトル	政策概要
1	くらし	一人ひとりの働きやすさを未来のスタンダードに	働きやすく・くらしやすい地域標準（≡姫路モデル）の形成	柔軟な働き方、両立支援、休暇取得、健康経営等を市内企業に広げ、働く人が生活の質の高さを実感できる、働きやすく・くらしやすい姫路をつくる。
2	くらし	多様な価値観と働き方を尊重し、一人ひとりが自分らしい働き方を選び、安心してくらすよう、働く環境と生活基盤の質を高める	若者・女性に選ばれる雇用環境づくり	20代転出超過や女性労働力率の課題を踏まえ、賃金、キャリア形成、登用、働きがいの改善に取り組む企業を後押しする。
3	くらし		くらしと仕事を両立する時間価値の向上	通勤、会議、事務作業等の見直しを通じ、働く人が家族、学び、地域活動に使える時間を増やし、生活満足度を高める。
4	くらし		多様な人材を受け止める地域就労基盤の形成	年齢、性別、国籍、障害の有無等に関わらず、働く意欲と能力を地域企業につなげる相談・マッチング・職務設計を進める。
5	人材	アドバンスト人材の創出と全ての人の活躍促進	若者・学生が集まる産業人材循環の形成	高校生・大学生等が姫路の企業や産業に触れる機会を増やし、まちのにぎわい、地元就職、将来の定着につなげる。
6	人材	技術革新に対応するため、変化に応じて自ら学び挑戦し続ける自律的な人材を育成する基盤の構築を支援する	地元企業理解の促進	職業体験や企業訪問の機会を広げ、若者が姫路の産業集積や働く魅力を実感できる環境をつくる。
7	人材		技能・技術の継承と高度化	姫路の産業を支える技能者等の労働環境の改善、若手・外国人材等への技能承継や業界の高度化を支援する。
8	人材		職業ミスマッチの解消支援	就業構造が変化しても、若者、女性、高齢者、外国人材等がそれぞれの能力を発揮できるよう、学び直し、職務転換、受入環境整備を支援する。
9	人材		アドバンスト人材を育てる学びの基盤形成	AI、DX、脱炭素、GX、海外展開等の変化に対応できる人材を、企業・教育機関・経済団体が連携して育成する。
10	イノベーション創出	つながり・生み出すシン産業	産学官金連携による新価値創出	市内並びに播磨圏域内の多様な企業、大学、金融機関、行政がつながり、新製品・新サービス・新規技術・新分野進出を生み出す環境を整える。
11	イノベーション創出	企業及び企業が中心となった主体による研究・開発など、姫路地域における発展的な企業活動を支援し、地域産業の高度化と新たな価値の創出を実現する	挑戦案件を継続的に生む相談・伴走機能	事業案の壁打ち、専門家接続、資金調達、補助金活用等を一体的に支える仕組みを整える。
12	イノベーション創出		データや先端技術による新産業創出	人流・検索データや次世代モビリティ等の先端技術を活用し、観光二次交通や地域移動の課題解決と新たな観光体験を検討する。
13	イノベーション創出		イノベーション創出チャレンジへの支援	素材・製造に強い姫路の産業特性を活かし、試作、研究開発、知財、販路接続を支援して新市場への展開を促す。
14	創業・事業承継	事業のめぐりを豊かにする 創業と承継を戦略的に支え、事業の新陳代謝と成長機会を生み出す持続的な地域経済を構築する	地域に活力をもたらす創業の促進	まちなか、北部、家島等の地域独自の資源や課題を活かし、生活者目線の新たな事業創出を促す。
15	創業・事業承継		エリアの個性を活かしたにぎわい創出	駅西等の個性的なエリアで、空き店舗活用や地域コミュニティの形成・活性化を通じて、小規模創業が核となりにぎわいが生まれる土壌を形成する。
16	創業・事業承継		若者・学生によるチャレンジ創業の促進	高校生・大学生等が地域課題や産業資源を題材に小さく挑戦できる環境を整え、将来の起業・地元定着につなげる。
17	創業・事業承継		事業承継の円滑化と見える化	後継者不足企業の実態を把握し、黒字廃業の回避、雇用・技術・顧客基盤の継承を支援する。

挑戦と新たな価値が循環する 働きやすく・くらしやすい姫路

No	カテゴリー	中期方針	政策タイトル	政策概要
18	活力基盤	未来を創る、強い企業の底力 企業の競争力向上に向けてソフト・ハード両面の強化を進め、世界水準の産業都市としての成長を実現するとともに、企業の安定的な維持・存続を図る	生産性向上と業務変革の推進	AI、デジタル、設備改善等により非付加価値業務を減らし、人手不足下でも稼ぐ力を高める。
19	活力基盤		素材・製造の強みを活かした産業集積強化	素材・製造が強い姫路の産業特性を踏まえ、既存企業の高度化と関連産業の集積を一体的に進める。
20	活力基盤		前向き投資を生む企業体質づくり	設備、人材、研究開発、省エネ等への投資を促し、企業の維持・成長と地域経済の好循環を支える。
21	活力基盤		小規模事業者・中小企業の経営基盤強化	資金繰り、販路、人材、設備、BCP等の経営課題に対して、関係機関が連携した伴走支援を行う。
22	活力基盤		支援団体等との連携強化	支援団体等との連携を強化し、定期的に情報交換等を行うことで中小企業や労働者のニーズを的確に把握し、適切な事業展開につなげる。
23	PR戦略	来て！見て！買って！ 地域企業の競争力を高めるため、企業価値・製品価値の国内外への発信を強化し、持続的な市場拡大を実現する	ターゲット別の魅力発信	若者、観光客、域外人材、企業、バイヤー等に対し、それぞれが求める魅力を整理し、発信方法を最適化する。
24	PR戦略		住みやすさ・働きやすさの一体的PR	住宅取得のしやすさや生活利便性など、住んでみてわかる姫路の魅力をお仕事情報とともに発信し、定住促進につなげる。
25	PR戦略		姫路城から地域の魅力へつなげるPR	姫路城を目的に訪れた訪問客に対し、姫路並びに播磨の逸品に触れる機会を創出し滞在時間や消費を伸ばす。
26	PR戦略		市内企業・製品価値の戦略的発信	姫路の企業力、技術力、製品価値を国内外へ発信し、販路拡大、採用、投資につなげる。
27	アイデンティティ産業	姫路らしさを磨く 姫路・播磨地域で育まれた伝統産業の活性化、姫路城を中心とした観光資源の活用、姫路市内産業の6次産業化等により、地域としてのアイデンティティを形成し、その魅力を高めていく	地場産業高付加価値化	皮革、清酒、乾麺、菓子、金属加工等を姫路らしさの源泉として磨き、地域ブランドとしての訴求力を強化する。
28	アイデンティティ産業		6次産業化・地域食ブランドの推進	農水産品、清酒、加工食品、飲食、観光、ECを結び、北部・離島を含む地域資源の需要を拡大する。
29	アイデンティティ産業		商業活性化によるまちの魅力創出	商店街組合等を通じて地域の商業集積地の活性化を促し、商業によるまちのにぎわいを創出することでまちの魅力を高め、持続的な地域経済の構築につなげる。
30	アイデンティティ産業		観光資源と産業資源の融合	姫路城、書写山、家島、酒蔵等の観光資源と地場産業をつなげ、滞在時間と観光消費額を伸ばす。
31	アイデンティティ産業		職人技・クラフト文化の継承と活用	製造業や伝統産業を支える職人の技能やものづくり文化を次世代へ継承し、商品・体験・教育へ活用する。
32	立地特性の活用	物流×製造×エネルギー×観光＝多層型産業都市へ 立地特性を活かした地域経済の持続的成長を実現する	物流・製造・エネルギー連携による産業集積強化	臨海部や周辺産業の集積、交通網及び立地優位性を維持・活用し、物流、製造、エネルギーが相互に支える産業都市のさらなる形成を推進する。
33	立地特性の活用		交通結節性を活かした企業立地促進	地域未来投資促進法等を活用し、新規立地や設備投資を促進する環境を整え、大企業をはじめとする民間活力による工場立地を促進する。
34	立地特性の活用		姫路港の活用促進	国際拠点港湾として、播磨工業地帯の中心を支える港として、脱炭素の物流拠点・エネルギー基地として、地域経済の発展を担う姫路港の活用を促進する。
35	立地特性の活用		播磨連携中枢都市圏による産業活性化	播磨圏域の8市8町が連携し、播磨の産業（観光を含む）の魅力を高めることで、企業集積、人材育成、まちのにぎわいを一体的に高める。